

# 柏市消費者教育推進連絡会つうしん N0.34

〈柏市消費者教育推進連絡会について〉

- ◆ 目 的 ◆ 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◆ 委 員 ◆ 柏市教育委員会, 小・中・高等学校教員
- ◆ 事務局 ◆ 柏市消費生活センター (4 名)



## 第2回連絡会

令和 6 年 1 1 月 2 9 日 (金) 午後 3 時から  
柏市沼南庁舎 5 階 5 0 1 会議室で、  
令和 6 年度第 2 回柏市消費者教育推進連絡会を開催しました。  
今回も、川村学園女子大学生生活創造学部 生活文化学科  
教授 齋藤 美重子 先生に講師をお願いしました。

今回のテーマは

「消費者教育授業実践事例と教材研究」  
～見て、聞いて、やってみよう～です。



食い入るように人生設計ゲームを行う委員

### ①スペインの学校と日本の学校の違い

齋藤先生が、スペインのバスク地方へ教育視察研修に出かけられた際の話をしてくださいました。

- ・小学校では、1 学級 1 8 ～ 2 0 名で、メインとサブの二人の教師が指導にあたり、常に児童が主体になっている。従って、授業は、児童自身は何をしたいか、将来何になりたいかを優先し、教師はサポートに徹している。
  - ・いざこざは、当事者同士で解決する。
  - ・学校は楽しい場所で、不登校児童はほとんど存在しない。
- など興味深い内容でした。

### ②アウェアネス テスト

をご存じですか

動画を見ながらバスケットのパスの回数を調べていくと、クマの着ぐるみでムーンウォークをする人が全く目に入らない、ある目的で意識を集中すると人間の目は、意外と節穴だらけだという気づきを学びました。

### ③小学校の食品ロスをテーマにした授業実践の事例紹介

総合的な学習の時間・国語・社会のクロスカリキュラムの紹介をしていただきました。学校栄養士の協力を得て、残菜の実態を壁新聞にまとめました。また、地域にも目を向け、市役所の職員や小売店の業者の方とも交流が生まれました。学校の残菜調べから地域のフードロス削減まで発展した事例紹介でした。



小学校の実践事例を話す竈藤教授

### ④高等学校の金融リテラシーをテーマにした授業実践の事例紹介

近年、キャッシュレス化が進み、クレジットカードや電子マネーを使用することが多くなりました。そこで、家庭科では、自分たちの生活から考え行動するアプローチ、公共（社会科）では、俯瞰的に社会を考え行動するアプローチの2本立てで行った授業を紹介していただきました。「稼ぐ→使う→貯める→借りる」をトータルで学んだり、DVD「どこへ行ってる、私のお金」を視聴したりして理解を深めました。金融について、広い視野に立って投資を考えたり、情報を鵜呑みにせず、批判的に検討したりすることも重要であるなどの感想を持つことができた、事例紹介でした。



作る楽しさ、遊ぶ楽しさも知った委員

### ⑤人生設計ゲーム体験

連絡委員が3班に分かれて、消費者教育・金融保険教育教材「ライフサイクルⅢ ～生涯設計のススメ～」(第一生命作成)のすごろくを行いました。委員の皆さんは、このゲームの中で、ライフイベントや病気等のリスク、架空請求などの消費者被害を疑似体験しながら、消費者教育の必要性を強く感じられたようでした。

### 授業づくりのためのサイト例

これまで、連絡会の委員を務めていただいた先生方が実践した消費者教育授業の資料を、消費者教育ポータルサイトに掲載しております。

詳しくは下記 URL か右側の二次元バーコードを参照してください。

<https://kashiwa.ed.jp/scenter>



〈発行・問い合わせ先 柏市消費生活センター 電話 04-7163-5853〉